



関西本線

ウォーキングガイド

えいわ

永和駅 編

コースガイド

▶ ウォーキング距離：約 4.5 km

▶ 参考所要時間：約 1 時間 30 分

自然と歴史を感じるコース

愛西市は清流木曽川をはじめ数多くの河川があり、水との深い関わりの中で生まれた、独自の文化が息づく、水と緑に恵まれた街です。永和駅周辺にも大野城址をはじめ、歴史あるポイントがあります。自然や歴史をお楽しみください。



あいさいさん

あいさいちゃん
©AKR Illust: 伊藤彰

愛西市に行ったらこんなお土産がオススメです



■あいさいさんグッズ

幅広い世代に愛される愛西市マスコットキャラクター「あいさいさん」のグッズです。文房具やぬいぐるみなど多彩なグッズも大人気です。

※愛西市観光協会
(道の駅立田ふれあい里内) にて販売

■レンコン

愛西市は全国的に有名なレンコンの产地です。愛西市のレンコンは、新鮮さを保つために「土付き」で出荷されるのが一般的です。



時間があれば寄ってみよう



■船頭平闌門

パナマ運河に似た構造から「小パナマ」と呼ばれる珍しい施設。国の重要文化財に指定。

■道の駅 立田ふれあいの里

愛西市の名産品が大集合！レンコン蒲焼きやレンコンソフトクリームなど特産品を使ったオリジナルメニューも多数提供しています。



■森川花はす田

蓮見の会の会場となる鑑賞田。「立田赤蓮」、「ミセスローカム」などが楽しめます。蓮見の会は毎年7月に行われています。

関西本線 全路線図

JR西日本

JR東海



達磨寺（奈良県・王寺町）



岩船寺（京都府・木津川市）



九華公園（三重県・桑名市）



森津の藤（愛知県・弥富市）



おすすめコース

永和駅



徒歩約 9 分

① 大野神社

祭神は天照大神、応神天皇、迦具土神。創建、勧請は明らかではありませんが、神明社の棟札には「明和六己丑才」(1769)四月吉日、寺西駿河守家福、八幡社の棟札には「元禄七甲戌年(1694)正月吉祥日寺西三郎大夫家定」と記されています。『張州府志』には「八幡祠、神明祠俱在大野新田村」とあります。大正3年10月に八幡社、神明社、秋葉社の三社を合祀して旧称神明社は大野神社と改められました。

徒歩約 9 分

② 大野城址

③へ徒歩約 20 分

大野城(砦)は戦国時代、蟹江城の支城のひとつとして築かれ、天正12年(1584)4月、秀吉対家康の「小牧・長久手の戦い」の前哨戦である蟹江大野合戦がこの地で起こりました。大野城主山口重政は、母を人質にとられながらも徳川方に味方し敵を撃破、徳川の天下取りの基礎を築きました。この戦いを記念し、昭和54年に碑が建てられました。



③ 富士浅間社

④へ
徒歩約 12 分

このはなさくらやまのゆめこと
祭神は木花佐久夜毘賣命で迦具土神を合祀。善太新田の開発者の服部安久は、尾張公の家老成瀬公の内命によって、正保4年(1647)の開墾着手すると先ずその開墾成就を名古屋の納屋裏広井村(現名古屋市中村区)の浅間社に祈願しました。爾来、嘗々と開墾に従事して万治元年(1658)に業成り、荒漠たる地が稻田に変わりました。これは、開墾成就を祈願した浅間神社の靈験のたまものだとし、万治元年に御分靈をこの地に移し、この地の産土神としてお祀りしました。



④ 神明社・八剣社

祭神は天照大神と日本武尊。由緒・勧請年代については不明ですが、元禄10年(1697)と天明2年(1782)の棟札が残っており、天明2年の棟札には「新造神明八剣社一宇御舍繁昌所 天明二壬寅年五月吉日、大原吉大夫」と記されています。村の起源を語る内藤東甫撰の『張州雑志』には「近隣中最大の名刹成信坊がこの地に在った」と記され、古き良き村であったことを教えてくれます。

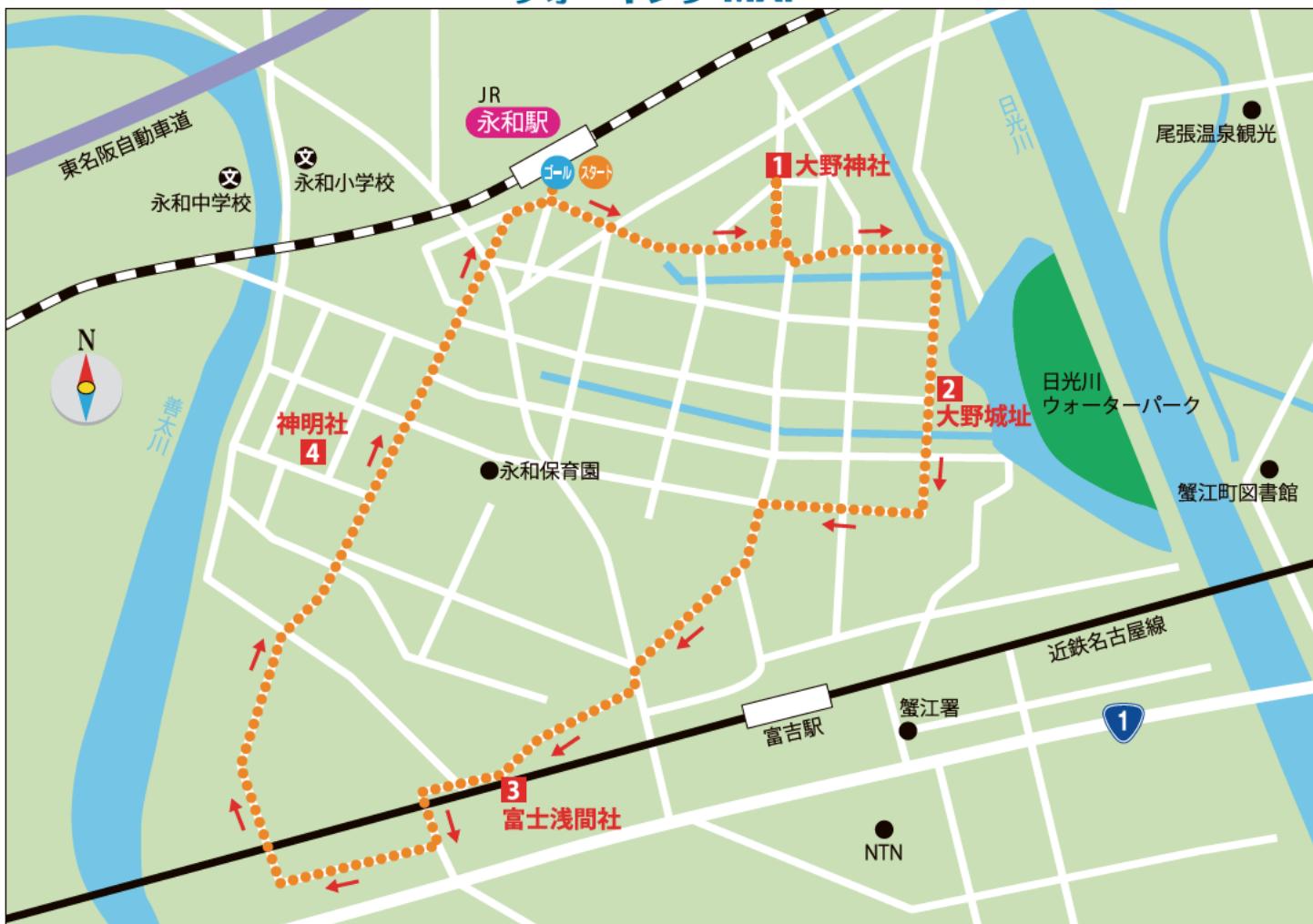


徒歩約 10 分

永和駅



ウォーキング MAP



お問合せ

愛西市観光協会

TEL : 0567-55-9993

FAX : 0567-28-5870